

# 松江市立島根中学校第2学年 外国語科（英語）学習指導案

日 時：平成24年11月21日(水)

5校時（14:05～14:55）

場 所：2年教室（教室棟2階）

指導者：坂田直子（JTE） / Elena Imaoka（ALT）

## 1. 単元

Unit 5 “A New Language Service” (New Horizon English Course Book 2)

## 2. 単元の目標

(1) ペアワークやグループ活動において、間違ふことを恐れず話す。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 身近な話題について、自分の考えを理由や条件を加えて伝える。

【外国語表現の能力】

(3) 接続詞 if, that, when, because を用いた文の構造を理解する。

【言語や文化についての知識・理解】

## 3. 学習の基盤（生徒観は省略）

### 教材観

本単元では、生徒が親しんでいる日常会話に加え、広報誌や英字新聞の記事や投稿が初めて扱われている。文法事項としては、従属接続詞 (if, that, when, because) が新しく取り上げられている。これらの接続詞を用いることにより、理由や条件、場合などを加えながら自分の考えを述べるができるため、コミュニケーション活動を通してより豊かな表現力を身につけられる単元である。また、賛成を表す for や I think (that) ~. I'm sure ~. など、自分の立場や考えを明確にする表現を新たに習得することによって、コミュニケーションを図る技能の幅が一層広がることが期待される。その反面、一文が長く複雑になるため、語順や主節と従節との関係に混乱をきたす生徒がいることも予想される。そのため、この単元を通して日本語と英語の語順の共通点や相違点に着目させたり、どちらの節も主語が省かれないことを押さえたり、既習の等位接続詞 (and, or, but 等) を想起させたりするなど、生徒が理解しやすい工夫をする必要がある。

内容としては、外国人住民のための言語サービスが話題となっている。今後、外国人と接する機会が多くなると予想される生徒たちにとって、誰もが住みやすい社会をつくることの大切さを「ことば」の視点から考える機会ともなりうる。

### 指導観

本単元の学習を通して、接続詞 (if, that, when, because) の意味・用法を理解し、運用する力を養いたい。指導の流れとしては、それらの接続詞を用いて2つの文を1つにつなげるという概念を少しずつ持たせるために、できるだけ多くの例文を提示する。その際、提示する例文は、生徒たちにとって身近なものや興味・関心をもちやすい話題の中で導入する。また、教科書の内容が興味をもって読み進められるよう、実際に起こっている外国人を取り巻く問題や解決策について JTE がエピソードを紹介したり、ALT が日本での体験

談を伝えたりする。文構造の確実な定着を図るため、教科書の音読、基本文を用いたパターンプラクティス、語順の並べかえドリルなどを多く取り入れる。

本単元の最終段階においては、定められたテーマについて既習の表現と新たに学習した接続詞を適切に用いて、自分の考えや意見を友達やALTに伝える活動を行わせる。その際、積極的に自分の考えや意見を述べたくなったり、友達の考えを聞きたくなったりするようなテーマを生徒が選択できるようにするとともに、自分の考えが明確で具体的になるようなワークシートを用意する。

また、どの生徒も自信をもって楽しくスピーチが行えるよう、準備段階や授業外に教師が個別に支援をしたり、小グループでお互いに練習やアドバイスができる時間を確保できるよう配慮する。

#### 4. 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
① ペアワークやグループ活動において、自分の考えを間違えることを恐れず話している。  「話すこと」 (言語活動への取組)	① 身近な話題について、自分の考えを理由や条件を加えて伝えることができる。  「話すこと」 (適切な発話)	/	① 接続詞 (if, that, when, because) を用いた文の構造を理解している。  「書くこと」 (言語についての知識)

#### 5. 単元の指導計画 (9時間)

時	ねらいと主な学習内容 (○ねらい ・ 学習活動)	評価規準	評価の方法
1	○本単元で身に付ける文の構造や、取り上げられている内容について大まかに知る。 ・ warm-up として教師が話す身近な話題の中で、接続詞 (if, that, when, because) に耳を慣らす。 ・ 日本に住む外国人の困難さについて推測したり、ALT の体験談や JTE の情報を聞いたりする。		
	○接続詞 if を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、接続詞 if を用いた文の構造を知る。 ・ 接続詞 if を用いた文を使えるように練習する。	エの①	ペーパーテスト (後日)
2	○接続詞 that を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、接続詞 that を用いた文の構造を知る。 ・ 接続詞 that を用いた文を使えるように練習する。 ・ 身近な話題について自分の考えを I think (that) ~. を用いて表現する。	エの①	ペーパーテスト (後日)

3	○接続詞 when を用いた文の構造を理解する。 ・教科書の本文を通して、接続詞 when を用いた文の構造を知る。 ・接続詞 when を用いた文を使えるように練習する。	エの①	ペーパーテスト (後日)
4	○接続詞 because を用いた文の構造を理解する。 ・教科書の本文を通して、接続詞 because を用いた文の構造を知る。 ・接続詞 because を用いた文を使えるように練習する。 ・教科書の本文から、自分の考えや意見を表したり、その理由を述べたりするときに用いられる表現を探す。 ・身近な話題について自分の考えを理由とともに表現する。	エの①	ペーパーテスト (後日)
5	○自分の考えや意見を、人を納得させるように伝える表現を理解する。 ・教科書で用いられている意見の述べ方や理由の伝え方をまとめる。 ・他の表現を知る。 ・身近な話題について自分の意見や考えを伝える練習をペアやグループで行う。	アの①	活動の観察
6	○与えられたテーマについて自分の考えや意見を理由とともに表現する。 ・考えをまとめ、スピーチの原稿を書く。 ・教師や友達のアドバイスを受け、原稿を完成させる。	アの①	活動の観察
7	・ペアやグループでスピーチ発表の練習をする。		
8	○自分の考えや思いを伝えるスピーチを発表し合う。	イの①	スピーチ
9 (本時)	・スピーチを発表する。 ・友達のスピーチを聞き、それぞれの考えや理由をメモする。 ・質問やそれに対する受け答えをする。		
後日	[ペーパーテスト] ◇与えられた場面に、接続詞を用いて適切な表現を書く問題 [インタビューテスト] ◇別のテーマについて、自分の考えを ALT に伝える。	エの①  イの①	ペーパーテスト インタビューテスト

## 6. 本時の学習

### (1) ねらい

身近な話題について、自分の考えを理由や条件を加えて伝える。

【「話すこと」外国語表現の能力(適切な発話)】

### (2) 展開

学習活動(時間)	生徒の活動と評価	教師の支援 (☆JTE ★ALT)
Warm-up (5 mins.)	○英語であいさつをする。 ○チャンツを歌う。 ○本時の目標と活動の流れを知る。	☆★英語学習の雰囲気づくりができるよう、自然なあいさつをする。 ☆本単元の学習内容を含むチャンツを用意する。 ☆本時の学習に見通しがもてるように、目標と活動の流れを提示する。
スピーチ活動 (40 mins.)	○スピーチ活動の事前の確認を行う。 未習語の練習/発表の練習	☆★理解の助けになるような語を中心に未習語の発音練習をする。 ☆★個別の支援が必要な生徒を中心に机間支援する。

	<p>○スピーチを発表する。 ○スピーチを聞く。 ○質問、応答をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価 身近な話題について、自分の考えを理由や条件を加えて伝えることができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Topics : ① Are you happy if you have <u>bento</u> once a week? ② Are you happy if you don't have to wear school uniforms ? ③ Do you want to live in Shimane-cho when you grow up?</p> </div>	<p>☆全員がスピーチを楽しめるように、必要に応じて未習語の意味やそのヒントを知らせる。 ☆必要があれば発表者に対して読み方等を補助する。 ★生徒から質問やコメントが出やすくなるよう、いくつかの質問やコメントをする。 ☆関心をもって友達の話が聞けるよう、メモをとるワークシートを用意する。 ☆★今後の英語学習につながるよう、発表者に対して肯定的な評価言を与える。</p>
<p>まとめ (5 mins.)</p>	<p>○スピーチ発表の評価について知る。 ○あいさつをする。</p>	<p>☆★スピーチなどの話す活動に自信をもてるよう、本時の活動についてよかった点を中心に評価する。</p>

(3) 評価

観 点	十分満足と判断される生徒の姿	おおむね満足と判断される生徒の姿	支援を必要とする生徒への指導の手立て
外国語表現の能力	身近な話題について、自分の考えを理由や条件を適切に加えながら、相手を納得させるように伝えることができる。	身近な話題について、自分の考えを理由や条件を加えながら伝えることができる。	テーマについての自分の考えが、理由や条件を加えながら話せるよう、後日のインタビューテストまでに今一度不十分な点についてドリルをしたり、別のテーマで練習をしたりする。

# What do you think?

Topics

A : Are you happy if you have bento once a week?

B : Are you happy if you don't have to wear school uniforms?

C : Do you want to live in Shimane-cho when you grow up?


☆ Try to write more than 5 sentences.

## Useful expressions (Examples)

- I think / know / hope (that) ~.
- Because ~, I ... = I ... because ~.
- When ~, we ... = We ... when ~.
- If ~, I ... = I ... if ~.
- I'm sure ~.
- I want to ~.

# Let's listen to the speeches.

	Name	Topic	うれしい 住みたい	うれしくない 住みたくない	Comments
1		A B C			
2		A B C			
3		A B C			
4		A B C			
5		A B C			
6		A B C			
7		A B C			
8		A B C			
9		A B C			
10		A B C			
11		A B C			
12		A B C			
13		A B C			

## 《コメントをしよう！》

### Useful expressions (Examples)

[考えに賛成] ・ I also think ~. ・ I think ~, too. ・ I am for ~. ・ I like ~ because ... ・ I want to ..., too.	[考えに反対] ・ I don't think ~. ・ I'm not for ~. ・ I'm against ~. ・ I don't want to ~, either. ・ ~, but ...	[その他] ・ Your speech was ~ because ... ・ I can understand ~.
---	---	---